

# 北里大学病院・北里大学東病院(旧)を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	$^{18}\text{F}$ -FDG 腫瘍 PET/CT の CT による実効線量の評価に関する研究
当院の研究責任者 (所属・職位)	大学病院放射線部・主任 永原 和憲
他の研究機関および 各施設の研究責任者	
本研究の概要・背景・目的	CT の被ばく線量指標である線量長さ積(DLP)は、変換係数を乗じて実効線量に変換され、被ばく線量の評価に用いられます。通常の CT 撮影では、撮影部位に応じた変換係数を使用しますが、PET/CT の CT では頭部から大腿近位までを一度に撮影するため、部位に応じた変換係数を適用できず、専用の変換係数が必要です。本研究は、PET/CT 用の変換係数が撮影条件によって異なるかを検討し、被ばく線量評価に役立てることを目的にしています。
調査データ 該当期間	2015年5月1日から2019年12月31日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さま	北里大学病院において、上記期間内に $^{18}\text{F}$ -FDG 腫瘍 PET/CT 検査を受けた方。
研究の方法 (使用する試料等)	2015年5月1日から2019年12月31日までの放射線情報システムまたは放射線画像サーバに保存された診療データを利用します。
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致しますが、患者さま個人の情報と収集した情報を対応させる表を作成します。この表は個人情報管理者が厳重に管理します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際は患者さまを特定できる個人情報は一切含まれません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究は北里大学医学部放射線科学(画像診断学)の一般研究費によって実施します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
データの利用に同意されない場合とその申し出の期限	① この研究に関してデータの利用に同意されない場合には下記のお問い合わせ先までご連絡ください。 ② お申し出は2020年10月30日までにお願いいたします。なお、同意されない場合でも診療上の不利益を生じることはありません。 上記期限を過ぎてデータの解析を開始すると個人の特定ができなくなるため、試料・情報の利用に同意しない場合でも対応できません。
お問い合わせ先	所属・職位: 大学病院放射線部・主任 担 当 者: 永原 和憲(ナガハラ カズノリ) 電 話: 042-778-8541
備 考	